

令和7年度
第1回岩見沢市地域公共交通活性化協議会 資料

令和7年5月19日
岩見沢市企画財政部企画室

●令和6年度 岩見沢市地域公共交通活性化協議会 事業報告

岩見沢市地域公共交通活性化協議会 開催実績

■第1回協議会(R6.5.7)

◎報告事項

- ・令和5年度事業報告及び決算
- ・令和5年度公共交通の各種実績
- ・公共交通に関する取組み
- ・地域公共交通計画による評価指標の現状値

◎協議事項

- ・令和6年度事業計画(案)及び予算(案)
- ・バス路線(原状、月形線、高速くりやま号等)
- ・中央バスに係る協議運賃部会の設置
- ・地域公共交通計画(地域内フィーダー系統)

■第2回協議会(R6.9.18)＜書面＞

◎報告事項

- ・北海道中央バスの協議運賃
- ・月形線
- ・夕張線
- ・高速くりやま号

◎協議事項

- ・東部丘陵線に係る停留所新設等
- ・東部丘陵線に係る協議運賃部会の設置

■第3回協議会(R6.12.5)＜書面＞

◎報告事項

- ・東部丘陵線の協議運賃

◎協議事項

- ・岩見沢月形線の地域旅客運送サービス継続事業実施計画(案)
- ・「魅力再発見！お薦め「SCENE」コンテスト」～バスの車窓から～の応募作品
- ・地域公共交通確保維持改善事業に係る事業評価

岩見沢市地域公共交通活性化協議会 協議運賃専門部会 開催実績

■協議運賃専門部会(北海道中央バス)(R6.7.23)

◎協議事項

- ・北海道中央バスの協議運賃

■協議運賃専門部会(東部丘陵線)(R6.10.29)

◎協議事項

- ・東部丘陵線の協議運賃

報告事項（1－2）令和6年度 協議会事業〔決算〕

●令和6年度 岩見沢市地域公共交通活性化協議会 決算報告

【収入の部】

(単位：円)

款	項	目	予算	決算	増減額	適用
1	負担金	1 負担金	500,000	500,000	0	協議会運営分(市より)
2	補助金	1 補助金	21,043,000	18,779,000	▲2,264,000	地域公共交通確保維持改善事業費補助金 ・地域内フィーダー系統補助 18,779,000円
3	繰越金	1 繰越金	2,276,443	2,276,443	0	前年度繰越金
4	諸収入	1 諸収入	557	1,011	454	利息
収入 計			23,820,000	21,556,454	▲2,263,546	

【支出の部】

(単位：円)

款	項	目	予算	決算	増減額	適用
1	運営費	1 会議費	345,000	339,674	▲5,326	委員報酬(協議会3回、協議運賃専門部会2回)
		2 事務費	25,000	13,475	▲11,525	事務経費
2	事業費	1 事業費	22,543,000	19,048,978	▲3,494,022	地域内フィーダー系統補助 18,779,000円 バスの絵募集事業等 269,978円
3	予備費	1 予備費	907,000	0	▲907,000	
支出 計			23,820,000	19,402,127	▲4,417,873	

【収入】21,556,454円 - 【支出】19,402,127円 = 【差引】2,154,327円(翌年度へ繰越)

個別路線の具体的な収支状況については非公開

個別路線の具体的な収支状況については非公開

【市補助等】

区分	R6年度	R5年度	増減	摘要
中央バスへの補助 【前ページの①+②】	58,074千円	60,486千円	▲2,412千円	市内線:32,902千円 郊外線:25,172千円
新篠津村への市負担金 【上記③のうち、市負担分】	1,397千円	1,209千円	188千円	北新線に係る負担金(岩見沢市48%、新篠津村52%)
日の出交通への補助 【上記④】	11,886千円	9,087千円	2,799千円	東部丘陵線コミュニティバスに係る補助金
合計	71,357千円	70,782千円	575千円	

●市内を運行する中央バス路線の利用者数

中央バス		H30補助年度 (H29.10~H30.9)	R1補助年度 (H30.10~R1.9)	R2補助年度 (R1.10~R2.9)	R3補助年度 (R2.10~R3.9)	R4補助年度 (R3.10~R4.9)	R5補助年度 (R4.10~R5.9)	R6補助年度 (R5.10~R6.9)
利用者数 (人)	市内線	876,940	858,184	703,254	593,303	565,758	563,195	530,441
	郊外線	724,982	695,219	533,020	444,846	443,841	437,380	407,307
	計	1,601,922	1,553,403	1,236,274	1,038,149	1,009,599	1,000,575	937,748

バス事業者の個別情報については非公開

【運行状況】

区分	地区名	利用者数	対前年増減
デマンド型乗合タクシー	北地区	197人	64人
	西地区①	48人	21人
	西地区②	2人	▲2人
	栗沢地区	293人	▲22人
	合計	540人	61人
東部丘陵線コミュニティバス		9,755人	▲88人

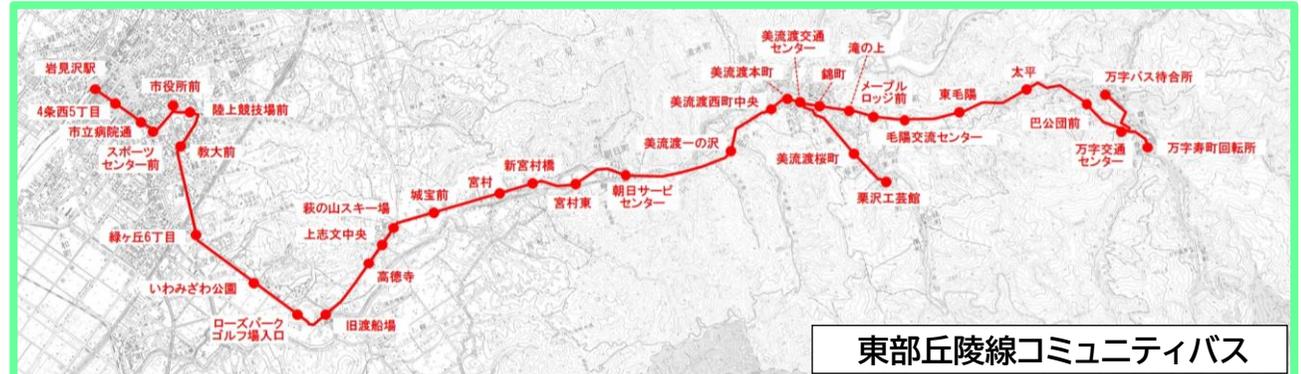
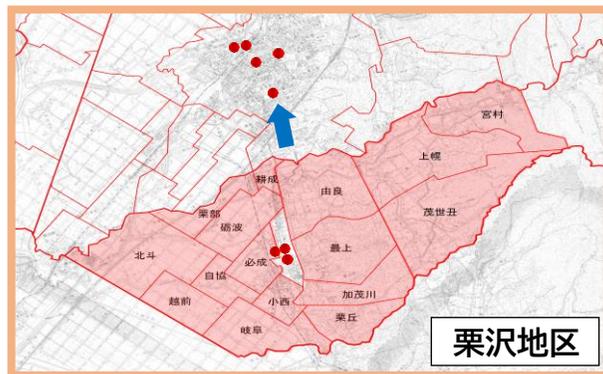
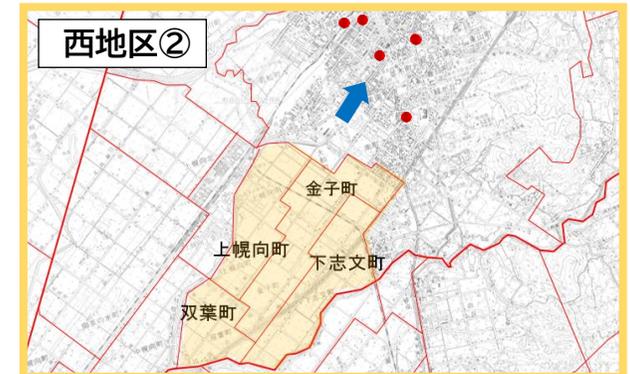
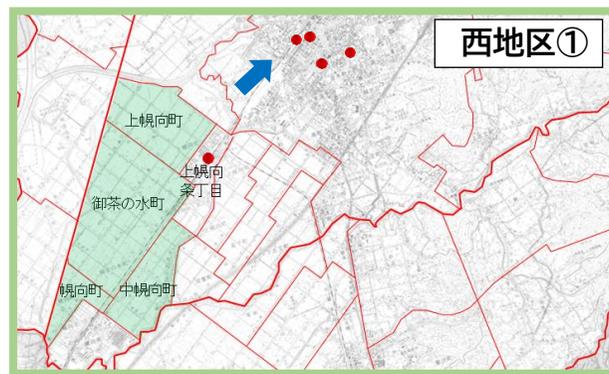
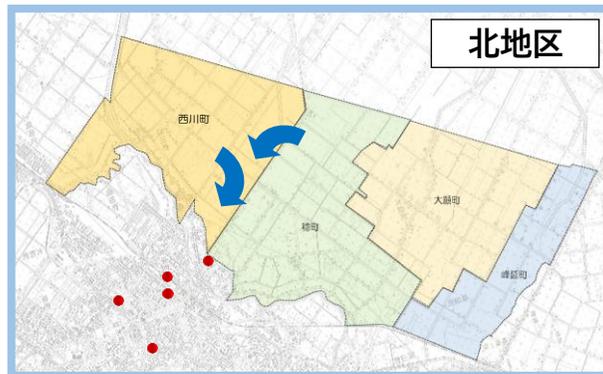
●デマンド型乗合タクシー

- H30. 4～ 運行開始 岩見沢北地区
- R 1. 7～ 運行開始 岩見沢西地区①②、栗沢地区
- R 2.12～ 栗沢地区の運行地域の拡大
- R 4. 4～ 運賃改定(東部丘陵線コミュニティバスとの整合を図るため値下げ)
// 栗沢地区の乗降場所の追加、運行時刻の変更

●東部丘陵線コミュニティバス

- R 4. 4～ 運行開始
- R 6.12～ 運賃改定(他バス事業者との整合を図るため値上げ)

【運行地域】



【南空知圏域】

- ・南空知地域における定住自立圏の形成に向けて、地域公共交通のほか、防災やICTインフラの整備を広域的に取組み、サービスの効率化につなげるために形成する圏域。⇒ R7は定住自立圏として実施。

○公共交通体験学習



R6.10.23(中央バス、JR北海道) 志文保育園



○公共交通利用促進パンフレット



公共交通を利用した南空知モデルコース

○乗務員確保チラシ



イメージ向上を図るチラシの作成

【JR室蘭線活性化連絡協議会】

- ・JR北海道が単独維持困難線区とする室蘭線の沼ノ端駅から岩見沢駅までの区間における、公共交通機関としての利便性及び持続可能性の向上に関する事項について協議するとともに、関係団体と連携して諸活動を展開し、周辺地域の振興に寄与することを目的に平成30年11月に沿線の2市3町(岩見沢市、栗山町、由仁町、安平町、苫小牧市)により設立。

○SNSによる情報発信



○JRヘルシーウォーキング



R6.9.15(岩見沢駅) アンケート調査等

○鉄道フェスティバルin北海道



R6.9.21(札幌市) 日高線との合同出展

●主な利用促進の取組み

○バスの絵募集キャンペーン(197作品応募)



バス車内展示(10/1~10/31)



岩見沢ターミナル展示(1/10~1/30)

○鉄道関係



ひとめぐり号でのノベルティ配布(10/14)



全国鉄道のまち連携イベント(3/20)
埼玉県大宮駅

●バスの運転手不足に対する支援

○広報誌による情報発信



広報誌に特集を掲載(R6.9月号)

○車窓景色フォトコンテスト



バス乗務員等がお薦めする
四季折々の風景等を募集し表彰

○乗務員確保チラシの作成(再掲)



南空知9自治体が連携して作成
(バス車内掲示、ハローワーク等で配付)

●バスの運転手不足に対する支援【南空知定住自立圏】

南空知9市町では、公共交通の維持・確保を図ることを目的として、令和7年4月1日より「路線バス運転手確保支援金」制度を新たに開始しました。本制度は、雇用されたバス運転手の方に対し、一定の要件を満たした場合に支援金を支給するものです。

対象事業者

- ・南空知を営業区域として運行している路線バス事業者
- ・新たに雇用した運転手を、主に南空知の運行に従事させる路線バス事業者

支給対象者

- ・南空知に住んでいる方
- ・令和7年4月1日以降に対象の路線バス運転手として就職し、同じ事業所で6ヶ月以上の勤務実績があり、今後も働き続ける意思のある方
- ・現在、働いている路線バス事業者に就職する前の1年間、上記対象事業者に雇用されていない方
- ・この支援金または補助金を初めて受け取る方
- ・市税に滞納がない方、暴力団等に該当しない方

支援金額

20万円



南空知

南空知で路線バスの運転手を 目指す方を応援します！

新たに働きはじめた
運転手さんに
20万円

路線バスの運転手は
地域社会を支える大切なお仕事

対象事業者

右記条件を全て満たす事業者

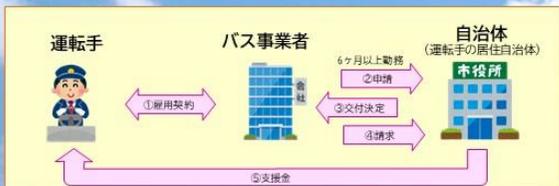
- 南空知を営業区域として運行している路線バス事業者
- 新たに雇用した運転手を、主に南空知の運行に従事させる路線バス事業者

支給対象者

右記条件を全て満たす方

- 南空知に住んでいる方
- 令和7年4月1日以降に対象の路線バス運転手として就職し、同じ事業所で6ヶ月以上の勤務実績があり、今後も働き続ける意思のある方
- 現在、働いている路線バス事業者に就職する前の1年間、上記対象事業者に雇用されていない方
- この支援金または補助金を初めて受け取る方
- その他要件は、お問い合わせください

支援金フロー



```

graph LR
    Driver[運転手] -- ①雇用契約 --> Operator[バス事業者]
    Operator -- ②申請 --> Local[自治体  
(運転手の居住自治体)  
市役所]
    Local -- ③交付決定 --> Operator
    Local -- ④請求 --> Driver
    Local -- ⑤支援金 --> Driver
    
```

申請先・お問合わせ先

<ul style="list-style-type: none"> ■夕張市 地域振興課地域振興係 ☎0123-52-3141（直通） ■南幌町 まちづくり課企画係 ☎011-398-7019（直通） ■月形町 企画振興課地域振興係 ☎0126-53-2325（直通） 	<ul style="list-style-type: none"> ■岩見沢市 企画室企画調整係 ☎0126-35-4834（直通） ■由仁町 地域活性・拠点整備担当 ☎0123-83-2112（直通） 	<ul style="list-style-type: none"> ■美瑛市 生活環境課生活交通係 ☎0126-62-3142（直通） ■長沼町 都市整備課管理係 ☎0123-76-8021（直通） 	<ul style="list-style-type: none"> ■三笠市 市民生活課市民年金係 ☎01267-2-3187（直通） ■栗山町 企画財政課企画グループ ☎0123-73-7502（直通）
--	--	--	---

申請をお考えの事業者の方は
支給対象者が居住する自治体に
ご連絡をお願いします。



報告事項（４）岩見沢月形線の地域旅客運送サービス継続事業実施計画

●地域旅客運送サービス継続事業実施計画の概要

※実施計画の詳細は、別紙１のとおり

令和６年１２月２５日に北海道運輸局長に対して認定申請を行い、令和７年２月３日に認定

事業主体

有限会社アオヤナギ観光バス

運送機関

一般乗合旅客自動車運送事業

態様

路線定期運行

運行期間

令和７年４月１日 ～ 令和１１年３月３１日

運行日

１２月３１日から１月２日までを除き、運行する。

車両

- ①中型バス（日野レインボー）
- ②マイクロバス（三菱ふそうローザ）

便数

路線（系統）名	平日		土日祝	
	往	復	往	復
岩見沢月形線	６便	６便	３便	３便

事業実施に必要な資金の額（R7～R11補助年度）

総事業費	区分	金額(概算)	財源内訳		
			団体	名称	金額(概算)
203,732千円	車両購入費 (初期費用)	58,193千円	国	車両減価償却費 等国庫補助金	6,870千円
			岩見沢市 月形町	運行に係る車両 購入費等の補助	51,323千円
	運行経費 (維持費用)	145,539千円	アオヤナギ 観光バス	運賃収入等	58,064千円
			国	地域間幹線系統 確保維持費補助 金	65,491千円
			岩見沢市 月形町	運行費に係る補 助金	21,984千円

目標値

【利用者数】

- ・現状値（令和 6年度）28千人※中央バス月形線
- ・目標値（令和10年度）29千人

●地域旅客運送サービス継続事業実施計画の概要

路線図



運賃

主な区間の運賃

								月形駅前
								大富
							9号線	300
						中央線	300	400
					赤川	300	400	500
				三谷農場	300	400	500	600
		西川向	240	400	500	600	700	800
岩見沢ターミナル	240	300	400	500	600	700	800	

変更点の概要

- ・ 距離設定から区域設定に変更
- ・ 料金区割りを13区分から7区分に変更
- ・ 初乗り料金以降の運賃を100円単位に設定
- ・ 隣接バス停への移動は最小運賃で乗車可能
- ・ 回数券の廃止
- ・ 定期券は次のとおり変更（通学定期（平日）は廃止）

1ヶ月定期	R6.12～	R7.4～	日数	割引率
通勤定期（全日）	42,300円	36,000円	30日	25%
通学定期（全日）	28,560円	17,600円	22日	50%
通学定期（平日）	20,940円	廃止	22日	距離で変動

※岩見沢ターミナル — 月形駅前 区間

※計算方法（運賃×往復×日数×（1-割引率））

報告事項（5）岩見沢市地域公共交通計画による評価指標の現状値

●計画の進捗状況について

岩見沢市地域公共交通計画で掲げる基本方針や施策を進めるにあたっては、「計画～実行～検証～改善」のPDCAサイクルを実施し、施策に係る関係者が施策効果の検証結果を共有するとともに、必要に応じて対策を講じることとしている。

また、本計画に基づく取組みの効果や施策の進捗状況等を把握するため、以下のとおり、評価指標を設定し、その推移について継続的にモニタリングすることとしている。

【施策の評価指標】

指標	摘要	計画策定時	目標値 (令和7年度)	評価方法	直近値	
① 公共交通施策に対する市民の満足度	市の交通施策に対する総合的な満足度 (総合計画共通指標)	12.0% (H30)	20.0%	市民アンケート等により計画終了年に計測(適宜実施)	10.2% (R6)	
② 公共交通を利用する市民の割合	通勤、通学、買い物、通院等で公共交通機関を利用している市民の割合(総合計画共通指標)	26.0% (H30)	30.0%		26.9% (R6)	
③ JR利用者数	JR岩見沢駅における1日あたりの乗降者数(総合計画共通指標)	9,400人 (H30調査)	9,400人	JR北海道保有のデータにより毎年計測	7,510人 (R5)	
④ JR室蘭線市内(栗丘～岩見沢)輸送密度	JR室蘭線の市内駅間(栗丘～岩見沢)の輸送密度	721人 (R1)	721人		547人 (R5)	
⑤ 市内線路線バス利用者数	路線バス市内線に乗車した人数(1乗車を1人として計上、総合計画共通指標)	85万人 (R1)	85万人	バス事業者保有のデータにより毎年計測	54万人 (R6)	
⑥ 市内線路線バス収支率	路線バス市内線の運行経費総額に対する収入総額(運賃、その他収入等)の割合	65.2% (R1)	75.0%		66.7% (R6)	
⑦ 路線バス中心市街地及び周辺の乗降数	中心市街地と周辺地域の路線バスのバス停の乗降者数	往	乗車	1,834人	1,834人	1,028人(R6)
		路	降車	160人	360人	124人(R6)
		復	乗車	186人	390人	95人(R6)
		路	降車	1,946人	1,946人	1,073人(R6)
⑧ デマンド型乗合タクシー平均乗車人員	デマンド型乗合タクシー1便あたりの平均乗車人員	1.26人 (R2)	1.50人	タクシー事業者保有のデータにより毎年計測	1.24人 (R6)	

●事業計画（案）について

現状と課題を共有し、具体的な取組みを推進するため、令和7年度は3回程度の協議会開催を予定しています。また、地域公共交通計画を策定するにあたり、新たに専門部会を立ち上げ協議を行います。

市内公共交通網の持続性の確保に資する取組み

（1）バスの絵募集キャンペーンの実施

- ・ 7月～9月にかけて市内小学生を対象にバスに関する絵を募集
- ・ 応募作品は9月中旬より約1ヶ月間、市内路線バスの車内に掲示提案

（2）公共交通の利用促進、乗務員確保支援

- ・ 広報いわみざわで公共交通の利用促進に向けた記事を掲載
- ・ 路線バス運転手確保支援金の活用

（3）関係団体との連携

- ・ JR室蘭線活性化連絡協議会、南空知定住自立圏（公共交通分野）等が実施する利用促進の取組みと連携

地域公共交通計画の策定

令和7年度は「岩見沢市地域公共交通計画」の最終年度であるため、地域公共交通活性化再生法や当市に適した公共交通ネットワークを踏まえて、次期計画を策定する。

●予算（案）について

【収入の部】

款	項	目	予算(円)	摘要
1 負担金	1 負担金	1 負担金	500,000	岩見沢市負担金
2 補助金	1 補助金	1 補助金	18,779,000	地域公共交通確保維持改善事業費補助金 ・地域内フィーダー系統補助 18,779,000円
3 繰越金	1 繰越金	1 繰越金	2,154,327	前年度繰越金
4 諸収入	1 諸収入	1 雑入	673	利子等
収入 計			21,434,000	

【支出の部】

款	項	目	予算(円)	摘要
1 運営費	1 会議費	1 会議費	525,000	委員報酬(協議会3回、専門部会3回)
	2 事務費	2 事務費	30,000	
2 事業費	1 事業費	1 事業費	19,979,000	地域公共交通確保維持改善事業費補助金 ・地域内フィーダー系統補助（中央バス、日の出交通へ補助） 18,779,000円 ・公共交通利用促進に係る費用（バスの絵募集企画等） 200,000円 ・公共交通の実態把握に係る費用(アンケート調査) 1,000,000円
3 予備費	1 予備費	1 予備費	900,000	
支出 計			21,434,000	

●専門部会

想定作業

- ・現状の利用状況や交通ニーズについての分析
- ・今後の交通体系のあり方についての協議
- ・K P I の検討
- ・計画案の作成 など

組織体制

≪協議会規約第4条に定める区分≫

- ・岩見沢市
- ・地域公共交通の利用者
- ・学識経験者
- ・その他市長が必要と認める者

※部会の規定は別紙2のとおり

●今後のスケジュール（案）

	R 7.5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R 8.1月	2月
協議会						●	→			
								2回程度開催		
専門部会				●	→					
					3回程度開催					
事務局		●	→		●	→				
		住民アンケート				計画作成				

●地域旅客運送サービス継続事業実施計画の概要

事業主体

日の出交通株式会社

運送機関

一般乗合旅客自動車運送事業

態様

路線定期運行

運行期間

令和4年4月1日 ~ 令和8年3月31日

運行日

毎日

車両

ワゴンタイプ車（10人乗り程度）

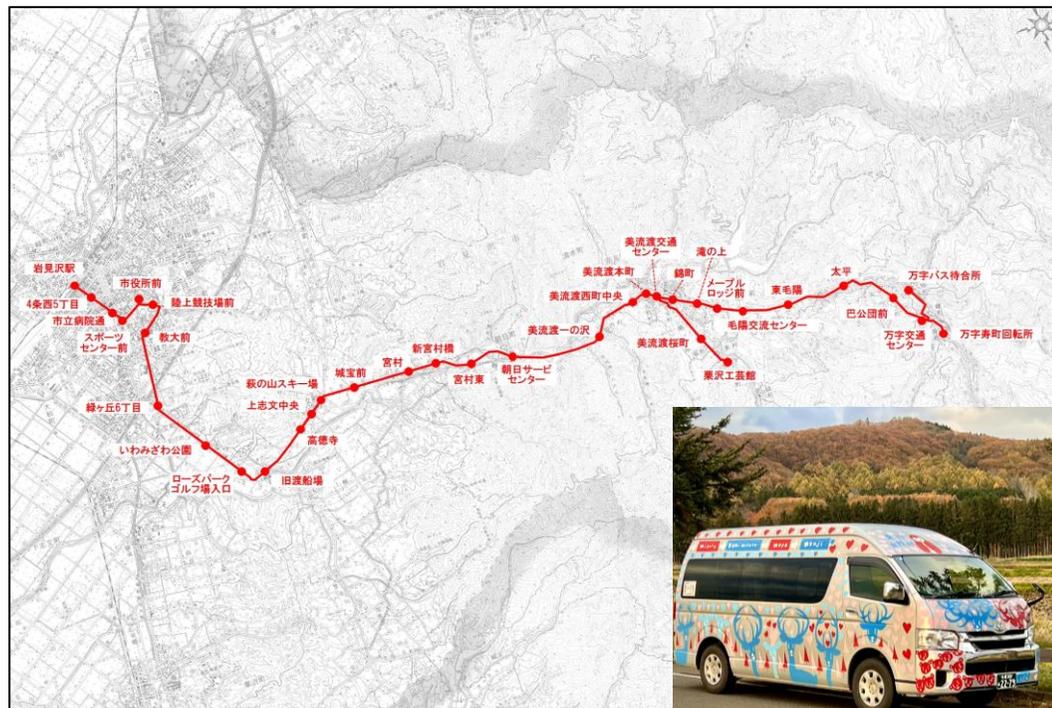
便数

平日：5～6往復 土日祝：4～5往復

目標値

- ・利用者数 13,045人（R2）⇒ 14,000人（R7）
- ・経常収支 ▲31,037千円（R2）⇒ ▲11,800千円（R7）
- ・自治体負担額 20,721千円（R2）⇒ 9,400千円（R7）

路線図



新たな地域公共交通計画に東部丘陵線を地域旅客運送サービス継続事業と位置づけ、令和8年度から始まる2期目のサービス継続事業として実施

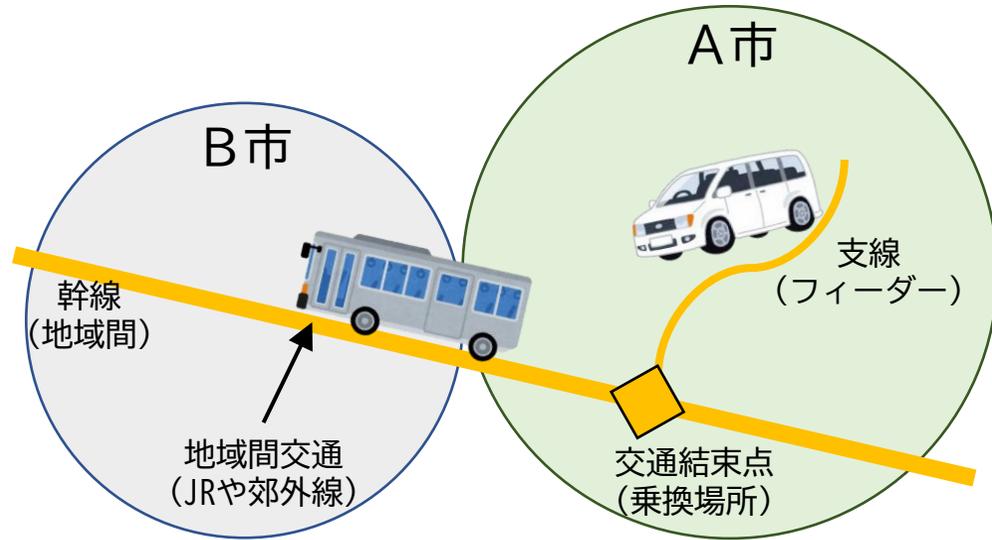
●フィーダー系統路線とは

複数の市町村にまたがる地域間交通（JRや郊外線などの幹線）につながる、支線（フィーダー）として、地域内交通を補完する路線（市内線）



国の認定が受けられた路線に対しては、自治体の規模や公共交通に関する計画の策定状況に応じて、国が補助。（補助年度ごとに、フィーダー計画の提出が必要）

●岩見沢市におけるフィーダー系統路線



No.	事業者	路線	系統	運行距離
1	北海道中央バス	かえで団地循環線	東高先回り	9.7km
2			国道先回り	
3		日の出台・栄町循環線	日の出台先回り	11.8km
4			栄町先回り	
5		鉄北循環線	鉄北先回り・桜木経由	10.5km
6			であえーる先回り・桜木経由	
7		南町・春日循環線	美園先回り	10.4km
8			市役所先回り	
9	日の出交通	東部丘陵線	上美流渡非経由	30.2km
10			上美流渡経由	34.3km
11			上美流渡非経由・毛陽交流センター止まり	21.9km

令和8補助年度
(令和7年10月1日
～令和8年9月30日)

においても、継続して
運行することから、
フィーダー計画を提出

《計画は、別紙3参照》